

つぎの100年に向けて

常翔学園J-Vision37募金

趣意書

■大阪工業大学

■摂南大学

■広島国際大学

■常翔学園中学校・高等学校

■常翔啓光学園中学校・高等学校



学校法人 常翔学園
Josho Gakuen

つぎの100年も
「選ばれる学校」であり続けるために



常翔学園は、1922(大正11)年、近代都市へと発展する大阪において、技術者養成が急務であった時代と地域の要請に応えるため創設された関西工学専修学校として誕生いたしました。爾来、一貫して建学の精神である「世のため、人のため、地域のため」による人づくりを推し進め、延べ約31万6千人の卒業生が社会の各分野で活躍しています。

現在は、大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学、常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校の3大学、2高等学校、2中学校に学生・生徒約2万5千人が集う総合学園へと発展。2022年10月30日には、創立100周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

しかしながら、本学園を取り巻く環境は、18歳人口の急激な減少、AI(人工知能)の進化などによる社会の劇的な構造変化、DX(デジタルトランスフォーメーション)への対応、文理の枠を超えた教育への転換、ガバナンス改革を通じた健全な私学経営が求められるなど、年を経るごとに厳しさを増しております。

こういった状況の下、学園は100年後も「選ばれる学校」であり続けるために、つぎの100年に向けた第一歩となる2037年までの長期ビジョン「J-Vision37」を策定するとともに、15年を5カ年Ⅲ期に分けた中期目標・計画を策定いたしました。設置各学校の特色を生かしつつ、学校間の連携を更に強化し、教育・研究の質向上に取り組んでまいります。

今般、選ばれる学校として更なる質の向上を支える財政基盤を築くため、支援事業を計画いたしました。今後も企業、自治体、地域、そして保護者並びに卒業生の皆様との連携を強めさせていただきながら、中期目標・計画を確実に実行し、J-Vision37の達成に向けた不断の改革を教職員一丸となって推し進めてまいります。

つきましては、設置各学校の各支援事業等にご賛同を賜り、教育・研究環境の更なる向上が図られるよう金額の多寡にかかわらず一人でも多くの皆様にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人常翔学園
理事長

にし むら やす し
河野 裕志

J-Vision37—常翔学園 つぎの100年に向けて

学園はつぎの100年に向けた第一歩となる2037年までの基本構想「J-Vision37」のもと、教育・研究の更なる充実を図り、設置各学校の特色を生かしつつ、学校間の連携を強化し、「選ばれる学校」として更なる質の向上に取り組んでまいります。

常翔学園 2037年 長期ビジョン

J-Vision 37

学園設置各学校における多様な分野の教育・研究力を連携し、持続可能な社会の創出と発展に貢献する。

学生・生徒が学びの成長を実感できる教育を展開し、グローバル視点を有し理論的根拠をもって課題の発見・解決ができる人材を育成する。

学園設置各学校の構成、規模の最適化を図り、安定した財政基盤を確立するとともに、適正なガバナンスと改革をリードする組織運営体制を構築する。

経営理念

「学生・生徒」「保護者」「卒業生」「教職員」を一つの「家族」(絆〜きずな〜)ととらえた経営を行うことで全員が一丸となって多くの優秀な人材を世の中に送り出し、社会と学園の永続的な成長と発展を目指す。

建学の精神

世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。

教育理念

対人能力に優れ、社会をリードする資質を備えた知的専門職業人(プロフェッショナル)を育成する。

大阪工業大学

社会・時代の要請に応え、専門学術の基礎と実践的応用力を身に付けるとともに、広い視野と豊かな人間性を涵養し、新しい知的・技術的創造を目指す開拓者精神にあふれた専門職業人を育成する。

実践的な教育と、その教育との連携のもとに推進される研究成果により持続可能な社会の実現に貢献する。地域に根差す大学というアイデンティティを保持しつつ、グローバル化が進行する社会の発展を支援する。私立で関西唯一の理工系総合大学として、独自のポジションを確立する。

1. 社会・時代の要請に呼応した学部・学科の再構築および教育・研究環境を整備する。
2. 学修成果〔専門知識・技術および汎用的能力(対人能力、自己管理能力、課題解決能力)〕の可視化を通じ教育の質を保証する。
3. グローバル化が進行する社会で活躍できる人材を育成する。
4. 地域・産業界・公的機関との連携により教育・研究を充実させ、合わせて社会に貢献する。
5. 最先端の知識と技術を活用し、教育・研究・大学運営を高度化する。

摂南大学

人間力と実践的能力をもち、多様な人々と協働して社会に貢献できる人材を育成する。

新たな価値を創造し続ける「知と人材の拠点」として広く認知される総合大学となる。

1. たゆみない教育改革と組織改革により、学生・教職員の人間力と実践的能力を圧倒的に高める。
2. 産官学連携事業・研究を強化し、新たな「知の創出と人の交流の拠点」を構築することにより、総合大学としての社会貢献度を高める。
3. 長期的かつ安定的学生確保に資する変革に挑戦し、財政基盤を持続的に強化する。

広島国際大学

本学における教育は、命の尊厳と豊かな人間性を基本理念とする。この理念に基づき、新しい時代が求める専門的な知識と技術の修得を進めるとともに、健康・医療・福祉の分野において活躍しうる職業人を育成する。

ともにしあわせになる学び舎一ひとをつなぎくらしをつなぎ未来へつなげる— 広島国際大学に関わるすべてのひとが、ともに学び、ともに活動し、ともに成長することによって、地域社会や人々をしあわせな未来につなげていく大学となる。

1. 時代の変化に対応し、未来に向けて、学内はもとより、学園設置学校や地域社会と連携した環境を整備する。
2. 自ら学ぶ精神を育み、人とのつながりを深めて人間的に成長し、自分と他者のしあわせ(Well-being)を実現しうる人材を育成する。
3. 地域を学びのフィールドとし、グローバルな視点を持って、様々な環境にある人と主体的に活動する。

常翔学園中学・高校

「自主・自律」の精神と幅広い「職業観」を養い、目的意識を持った進学の実現により、将来、実社会で活躍できる人材を育成する。

人々が幸福で平和に生きることのできる世の中を創るため、生徒中心の教育を重視し、グローバルシチズンシップを身につけた自律的学習者を育成する教育先進校となる。

1. 生徒の主体性を重視し、生徒が中心、学習者が中心の学校に変わる。
2. グローバルな視点とコミュニケーション能力を持ち、国際社会で活躍できる人材を輩出する。
3. 高度な知識と探究力を持ち、将来の日本をリードできる人材を輩出する。
4. 働き方改革で全ての教職員が心理的に安全で、元気に働く事のできる職場を作る。
5. 同僚性を尊重し、常に学習し、進化し続ける教師集団を目指す。

常翔啓光学園中学・高校

ユニバーサル社会を創造する自覚と能力を育み、社会に貢献できる人材を育成する。

社会に貢献できる学力と人間力を持ち、世界で活躍できる人材を育成するために、充実した進学指導に加えて先進的な教育を実践する進学校となる。

1. 日本のみならず世界で活躍できる人材を育成する。
2. 将来像を描き主体的に行動できる生徒を育成する。
3. 中高大連携を充実し、キャリア教育・探究活動を実施する。
4. グローバルマインドを身に付けることができる学びを展開する。
5. 生徒が自主的に学校活動に取り組むことにより、生徒満足度を向上させる。

教育の理念

将来像

長期目標

※—— 寄付金の名称 ——※

常翔学園J-Vision37募金

※—— 寄付金の募集目的 ——※

学園創立100周年を迎え、つぎの100年に向け策定した「J-Vision37」のもと、各設置学校の教育・研究の質を向上させ、「選ばれる学校」として更なる質の向上を支える財政基盤を築くため、寄付金を募集します。

※—— 寄付金の使途 ——※

設置各学校の教育・研究の振興および充実を図るため支援事業等を定め、それぞれの経費並びに設備機器の取得費用などに充当します。

※—— 寄付金の目標額・対象 ——※

【目標額】 5億円

【対象】 趣旨に賛同する個人、企業（法人）および団体

※—— 寄付金の募集期間 ——※

2023年4月1日～2028年3月31日

「入学に関してする寄付金」についての注意事項

学園設置各学校(大学院を含む)への入学を寄付者ご本人様またはそのご子女等が希望されている場合、当該学校の入学願書受付開始日から入学が予定される年の年末までの期間に納入いただいた寄付金は「入学に関してする寄付金」とみなされ、税制上の優遇措置の対象となりません。また、文部科学省からの通達により、「入学に関してする寄付金」の収受は禁止されています(入学決定後に募集の開始があったもので、新入生以外の方と同一の条件で募集される寄付金を除きます)。

入学を希望されているご子女等とは別のご子女等が既に学園設置学校に在籍されており、その保護者様に対し募集している寄付をされる場合や、入学辞退等により結果的に入学されない場合も「入学に関してする寄付金」とみなされます。そのため、ご子女や、在籍しているご子女等とは別のご子女等が学園設置学校の受験を予定されている場合、入学願書の受付開始日以降のご寄付はお控え願います。

募金の支援事業

ご寄付にあたっては、つぎの支援事業からご選択いただき、ご支援いただける学校や課外活動団体、プロジェクトをご指定ください。

特定の学校等を指定されない場合は「指定なし」を選択してください。なお、支援事業および学校等は複数選択・指定することもできます。

※ご寄付は任意のものとしてご協力をお願いしております。

教育研究運営支援事業

設置各学校の教育・研究の充実に対しご支援いただくことができます。各学校が進める教育・研究にかかる経費に充当します。
※特定の学校に支援できます。

奨学金充実支援事業

設置各学校の学生・生徒を支援する奨学金としてご寄付いただくことができます。寄付金を基金とし、運用果実を奨学金として経済的理由により就学困難と認められる在籍学生・生徒に給付します。
※特定の学校に支援できます。

課外活動支援事業

設置各学校のクラブ活動をご支援いただくことができます。各学校が定める課外活動援助金の使用規則などにより支援を行います。
※特定の学校の課外活動団体に支援できます。各学校で支援できる団体名は5・6頁をご覧ください。

プロジェクト支援事業

設置各学校のプロジェクト活動をご支援いただくことができます。プロジェクト実施にかかる経費に充当します。
※特定の学校のプロジェクトに支援できます。各学校で支援できるプロジェクト名は7頁をご覧ください。

キャンパス整備支援事業

設置各学校のキャンパス整備にご支援いただくことができます。設置各学校が計画する施設・設備の新設、リニューアルなど、教育・研究環境整備に充当します。
※特定の学校に支援できます。

起業家支援事業

設置各学校の在籍学生・生徒および教職員が起業を目指すための教育・研究資金としてご支援いただくことができます。
※特定の学校を支援することはできません。

- 【注意】
1. 設置学校を指定しない寄付金については、原則として設置学校の在籍学生・生徒数で按分した額を当該設置学校に配分します。
 2. 特定の課外活動団体および大阪工業大学の個別支援対象プロジェクトを指定しない場合や、ご指定いただいた課外活動団体およびプロジェクトがなくなった場合には、当該寄付金は各学校の当該支援事業等の全体にかかるご支援として使用させていただきます。
 3. 寄付金については、原則として具体的な用途を指定することはできません。

課外活動支援事業の支援対象団体(2023年度)

大阪工業大学

■体育会

体育会本部、陸上競技部、柔道部、剣道部、空手道部、北海道院拳法部、洋弓部、ラグビー部、ボクシング部、サッカー部、ハンドボール部、バレーボール部、バスケットボール部、卓球部、バドミントン部、硬式庭球部、軟式庭球部、硬式野球部、漕艇部、準硬式野球部、水上競技部、航空部、アイスホッケー部、自動車部、クライミングスポーツ部、ワンダーフォーゲル部、日本拳法部、合気拳法部、体操部、ゴルフ部、サイクリング部、スキー部、カヌー部、アメリカンフットボール部、ソフトボール部、テコンドー部、フットサル部、合気道部、ストリートダンス部、情報科学部軟式野球部

■文化会

文化会本部、土木文化研究部、建築文化研究部、電気科学研究部、機械工学研究部、応用化学研究部、電子工学研究部、知財推進部、生命工学研究部、環境工学研究部、美術部、写真研究部、演劇部、茶道部、ユースホステル部、鉄道研究部、将棋部、ボランティア教育研究会、漫画研究部、天文学研究部、E.S.S.(English Speaking Society)、書道部、城北水辺クラブ、軽音楽部、マンドリン部、クラシックギター部、フォークソング部、ウインドアンサンブル、OCF軽音楽部、コーラス部、空間デザイン研究部、OIT梅田ボランティア部、イベントクリエイター部、デザイン思考実践研究部、梅田ロボットプログラミング部、ピアノの会、H×Sコンピュータ部、Creative NG、Creative Sound Lab.、情報科学部軽音部、ubiquitous Robot Lab.、ジャグリングクラブ、Visual Acanthus Creation、情報科学部文化表現部、情報科学部ボランティア部、情報科学部写真部、情報科学部映画研究部、模型部、OITバーチャルライブ研究会

■その他諸団体

城北祭実行委員会、茶屋町祭実行委員会、北山祭実行委員会、応援團、ボランティア・Link.、陶芸部、国際友好部、留学生友好会



摂南大学

■文化会

文化会本部、吹奏楽部、軽音楽部、JAZZ部、ブラック・ミュージック・アンサンブル部、フォークソングmusic研究部、エコシビル部、ボランティア・スタッフズ、機械工学研究部、たび研究部、航空研究部、情報処理技術研究部、イラスト研究部、写真部、茶道部、放送部、美術部、演劇部同好会、E.S.S.同好会、ドローンサッカー部準備会

■体育会

体育会本部、ラグビー部、男子陸上競技部、女子陸上競技部、剣道部、柔道部、スポーツクライミング部、硬式野球部、準硬式野球部、サッカー部、アメリカンフットボール部、ホッケー部、女子ラクロス部準備会、少林寺拳法部、空手道部、硬式庭球部、軟式庭球部、アーチェリー部、バドミントン部、卓球部、バスケットボール部、バレーボール部、フットサル部、水泳部、チアリーディング部、バックパッキング部、ワンダーフォーゲル部、サイクリング部、ボウリング部、モータースポーツ部、ダンス部準備会 PEP JOY CREW

■枚方支部会

枚方支部会本部、漢方研究部、軽音楽部枚方支部、ボランティア部じよいふる、まちなか里山開発部準備会、園芸倶楽部(植食)準備会、サッカー部枚方支部、準硬式野球部枚方支部、バレーボール部枚方支部、バスケットボール部枚方支部、ソフトボール部枚方支部、ゴルフ部枚方支部、硬式庭球部枚方支部、バドミントン部枚方支部、ダンス部枚方支部準備会 LUFF Style

■委員会(祭典系)

春風祭実行委員会、摂大祭実行委員会、摂友祭実行委員会



広島国際大学

【東広島キャンパス】

■体育会系

体育会本部、柔道部、サッカー部、女子バレーボール部、女子バスケットボール部、男子バスケットボール部、軟式野球部、硬式野球部、陸上競技部、男子バレーボール部、硬式テニス部、剣道部、ソフトテニス部、バドミントン部、ダンス部、ライフセービング部、空手道部、弓道部、卓球部、フットサル部同好会、アダプテッドスポーツクラブ同好会

■文化会系

文化会本部、大学祭実行委員会、ボランティア部、吹奏楽部、芸術部、軽音楽部、演劇部、手話部、骨髄バンクを支援する会・しずく、ヒューマンハーモニクス部、フォークギター部、園芸部、和太鼓部、防災研究会同好会

【呉キャンパス】

■体育会系

体育会本部、呉空手道部、呉女子バスケットボール部、呉ダンス部、呉フットサル部、呉準硬式野球部、呉男女混合バレーボール部同好会、呉弓道部同好会、呉ビリヤード部同好会準備会、呉水泳部同好会準備会

■文化会系

文化会本部、呉アコースティックギター部、呉上田宗箇流茶道部、呉キャンパス大学祭実行委員会、呉軽音楽部、呉写真部、呉ボランティア部、薬学研究部同好会



常翔学園中学校・高等学校

■運動部

陸上競技部、水泳部、ソフトテニス部、卓球部、バスケットボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、アーチェリー部、剣道部、ラグビー部、サッカー部、柔道部、空手道部、ウエイトリフティング部、ソフトボール部、硬式野球部、ダンス部、ラクロス部

■文化部

吹奏楽部、写真部、放送部、情報技術研究部、合唱部、科学部、ライフデザイン部、軽音楽部

■サークル

山岳部、美術部、漫画研究部、自転車同好会、文芸同好会、国際交流サークル、ボランティア・サークル、英語ディベート部、探究同好会



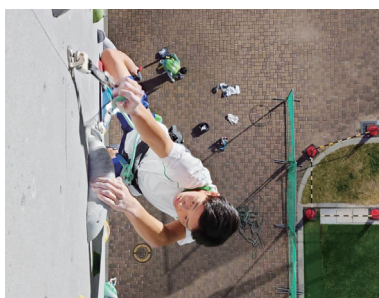
常翔啓光学園中学校・高等学校

■体育系

ラグビー部、ワンダーフォーゲル部、硬式野球部、軟式野球部、バレーボール部、バドミントン部、サッカー部、陸上競技部、剣道部、バスケットボール部、空手道部、硬式テニス部、水泳部

■文化系

書道部、軽音楽部、ダンス部、鉄道研究部、サイエンス部、茶道部、競技かるた部、歴史研究部、吹奏楽部、創作イラスト部、コンピュータ部、フィッシング部、写真部、英語研究同好会、放送同好会



プロジェクト支援事業の支援対象プロジェクト(2023年度)

大阪工業大学

■OITグローバル人材育成プロジェクト

専門的技術や知識を持ち、異文化の中で業務が遂行できる時代が求めるグローバル人材を育成するためのプロジェクトの実施経費に充当します。国際PBLプログラム、海外研究支援プログラム、交換留学、海外インターンシップなどの実施を予定しています。

■OIT学生チャレンジプロジェクト

学生が主体となって取り組み、さまざまな課題にチャレンジすることで、計画力、実践力、技術力、課題解決能力、コミュニケーション力を培い、新しい知的・技術的創造を目指す開拓者精神にあふれた、心身ともにたくましい専門職業人を育成するためのプロジェクトの実施経費に充当します。

ご支援いただける個別プロジェクトは、つぎのとおりです(複数選択可)。

〈個別支援対象プロジェクト〉[*]

「人力飛行機プロジェクト」「ソーラーカープロジェクト」
「学生フォーミュラプロジェクト」「ロボットプロジェクト」
「知財PR隊プロジェクト」

■OIT地域連携推進プロジェクト

本学の知的・人的資源を活用し、地域・社会の課題解決に取り組むとともに、本学の教育・学術研究機能を高め、地域・社会の発展と人材育成に寄与するためのプロジェクトの実施経費に充当します。

ご支援いただける個別プロジェクトは、つぎのとおりです(複数選択可)。

〈個別支援対象プロジェクト〉[*]

「奈良県川上村等地域活性化プロジェクト」
「大阪市旭区・枚方市等連携推進プロジェクト」
「梅田キャンパス地域連携プロジェクト」
「ソーシャル・オープンイノベーションチャレンジプロジェクト」

【*】個別支援対象プロジェクトを指定しない場合は、当該プロジェクト全体にかかるご支援となります。

摂南大学

■学生支援プロジェクト

本学は、学生が主体となって活動する以下のようなさまざまな「学生プロジェクト」を展開しています。これらチーム協働による学生主体の活動を展開・強化するための経費に充当します。



【これまで実施の学生プロジェクト(例)】

「ラーニング・サポート・チーム(LST)」
「学生アドミッション・スタッフ」「SETSUNAN GIRLS PRESS(SGP)」
「キャンパス・クリーン・サポーター(C.C.S)」
「図書館学生サポーター」「グローバル学生スタッフ(GSS)」

広島国際大学

■学生支援プロジェクト

本学園の建学の精神に基づき、世のため、人のため、地域のために学生自らがプロジェクトを企画・立案し、実行していくことで、社会人基礎力にある「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の向上を目指します。学内の活性化や地域の課題解決に向けて、学生自らが企画・立案したプロジェクトを大学に申請し、採択されたプロジェクトには奨励金を支給します。寄付金はこの奨励金に充当します。

■広国市民大学プロジェクト

本学の将来像を実現すべく、地域社会の誰もが大学や地域をキャンパスとして、学びあい、教えあい、集いあう取り組みとしての「広国市民大学」の運営経費に充当します。



■地域まると文化フェス実行プロジェクト

本学の将来像「ともにしあわせになる学び舎」の理念のもと、大学とつながりのある地域の皆様に参画いただき、ともに地域を元気にしていくイベントを開催します。地域の活性化に取り組む団体や企業、高校等と協働で企画・立案・実行していくイベントの実施経費に充当します。

常翔学園中学校・高等学校

■海外留学支援プロジェクト

グローバル教育を推進するため、海外語学研修やターム留学に参加する本校生徒に対し「奨学金」として支給します。



■海外姉妹校交流支援プロジェクト

海外の提携姉妹校が来校あるいは、本校が提携姉妹校を訪問した際の「各種交流費(観光地等視察経費やウェルカムパーティ代など)」に充当します。

常翔啓光学園中学校・高等学校

■グローバル教育推進プロジェクト

グローバル教育を推進するため、海外語学研修やターム留学に参加する本校生徒に対し、各種交流費や、異文化理解を進めるための教材等購入費用として活用します。



/// JOSHOU 古本募金

JOSHOU 古本募金は、皆様から読み終えた書籍等(DVD・CD、ゲーム機・ゲームソフトを含む)をご提供いただき、その買取金額をご寄付いただくものです。寄付金は、設置各学校の図書館(室)の蔵書や設備などの充実資金として活用させていただきます。

寄付方法

つぎの(1)または(2)をご選択ください。

- (1) 設置各学校の各キャンパスに設置している「古本ボックス」に書籍等をご投函願います。
- (2) 書籍等をダンボール箱に詰め、「学校法人常翔学園 JOSHOU 古本募金WEBサイト」からお申込みください。

ご指定の時間に宅配業者が集荷に伺います。

[学校法人常翔学園 JOSHOU 古本募金WEBサイト] <https://www.charibon.jp/partner/josho-u/>

※商品5点から送料無料。1回のお申込みにつき、段ボール3箱まで受け付けできます。

※18歳未満の方は、保護者の方をお願いしてお申込みください。



- 【注意】**
- 2010年以前に出版された本やISBN(国際標準図書番号)がついていない本は査定できません。
 - 設置各学校の古本ボックスに投函されたものは当該学校を指定したものとし、それ以外のは「指定なし」として、原則として設置学校の在籍学生・生徒数で按分した額を当該設置学校に配分します。
 - 寄付の税制上の優遇措置および領収書の発行は行っていません。
 - 誠に勝手ながら芳名録は割愛させていただきます。
 - 受付から査定・報告および送金は「charibon(チャリボン)」(運営：バリューブックス)が担当しています。
 - 詳細は「学校法人常翔学園 JOSHOU 古本募金WEBサイト」でご確認ください。

/// 遺贈寄付

遺贈とは、遺言を残すことにより、相続発生後にご自身の財産の全部または一部を特定の人や団体に無償で譲与することを行います。この遺贈による制度で、財産の全部または一部の受取人として常翔学園を指定することができます。

遺贈寄付をお考えの方は、事前に本学園事業企画室にご連絡願います。ご相談の上、下記の提携信託銀行を紹介いたします。

連絡先

[学校法人常翔学園 事業企画室]

TEL 06-6954-4003(直通) <相談時間 10:00~17:00(月~金[祝日を除く])>

提携信託銀行

[三井住友信託銀行]

〒540-8639 大阪府中央区北浜4-5-33

TEL 0120-288-733 FAX 06-6220-2624 <相談時間 9:00~15:00>

※遺言信託については、「三井住友信託銀行のWEBサイト」(<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/succession/will/>)もご参照ください。



- 【注意】**
- 遺贈のご寄付に対しては相続税法上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。
 - 詳細は、「常翔学園J-Vision37募金サイト」(<https://www.josho.ac.jp/giving/>)をご参照ください。



/// 相続財産寄付

相続財産寄付をお考えの方は、事前に本学園事業企画室にご連絡願います。

学園にご寄付いただいた相続財産については相続税はかかりません。相続人(寄付者)は、相続税の申告期限内に相続財産を常翔学園に寄付し、申告することにより、相続税が免除されます。なお、申告の際には、本学園発行の寄付金「領収書」と文部科学省発行の「相続税非課税対象法人の証明書」を税務署に提出する必要があります。「相続税非課税対象法人の証明書」の発行には、学園が文部科学省に申請してから約2ヵ月かかりますので、お早めにご連絡願います。

連絡先

[学校法人常翔学園 事業企画室]

TEL 06-6954-4003(直通) <相談時間 10:00~17:00(月~金[祝日を除く])>

- 【注意】** 詳細は、「常翔学園J-Vision37募金サイト」(<https://www.josho.ac.jp/giving/>)をご参照ください。



申し込み方法

つぎの方法でお申込みください。「個人・団体」「企業(法人)」「学園教職員」の皆様で手続方法が異なりますのでご注意ください。

個人(学園教職員を除く)・団体からのご寄付

◎本学園所定の「寄付申込書」によりお申込みください。[書面によるお申込み]

- ①同封の本学園所定の「常翔学園J-Vision37募金 寄付申込書」(個人・団体用/様式2)に必要事項を記入のうえ、「返信用封筒」(同封のもの)を使用し事業企画室までご郵送(FAX可)ください。
※寄付申込書は「常翔学園J-Vision37募金サイト」からダウンロードすることもできます。
- ②本学園所定の「払込取扱票」(同封のもの)をご利用のうえ、「銀行振込または郵便振替」により寄付金をお振込みください。
なお、払込手数料については下記(10頁)「【注意】4」を、振込先口座は10頁を参照してください。
- ③寄付申込書の受領および入金の確認が完了次第、本学から寄付金「領収書」を発行(郵送)します。

[便利なインターネットによるお申込みもご利用いただけます]

[WEBによるお申込み]

- ①「常翔学園J-Vision37募金サイト」の「寄付をする」からお申込みください。
- ②「個人・団体」を選択し、続いて寄付金の決済方法を「銀行振込または郵便振替」か、「クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easy(インターネットバンキング)」(個人のみ)のいずれかを選択して手続きしてください。
- ③画面の指示に従い必要事項を入力の上、寄付金をご入金いただくことでお申込みが完了となります。
- ④お申込み完了(入金確認)後、本学から寄付金「領収書」を発行(郵送)します。

※「銀行振込または郵便振替」を行う際は、本学園所定の「払込取扱票」(同封のもの)をご利用ください。払込手数料については下記(10頁)「【注意】4」を参照してください。

※振込先口座については10頁を参照してください。

※「クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easy(インターネットバンキング)」の決済方法は、団体の皆様はご利用いただくことができません。また、学園への入金は原則、翌月末となります。寄付金「領収書」の発行は、学園への入金後となりますので、ご注意ください。

※コンビニエンスストア支払いは、寄付合計金額が50,000円未満の場合のみ選択可能です。

ご利用いただける決済手段

クレジットカード決済







(受付可能な寄付方法：都度寄付/継続寄付)

コンビニ決済







インターネットバンキング
(24時間受付可能)



銀行振込
・
郵便振替

WEBによるお申込み

スマートフォン・
タブレット・
パソコン対応



「常翔学園 J-Vision37 募金サイト」
<https://www.josho.ac.jp/giving/>

企業(法人)からのご寄付

◎「書面によるお申込み」のみとなります。

- ①企業(法人)の皆様からご寄付をいただく際には、寄付金に対する税制上の優遇措置内容(詳細は11頁参照)によりお申込み方法が異なります。①「受配者指定寄付金」または②「特定公益増進法人に対する寄付金」のいずれかの制度をご選択いただき、お申込みください。
- ②それぞれのお申込みにかかる提出書類は下表のとおりです。必要事項をご記入のうえ、同封の「返信用封筒」で事業企画室までご郵送(FAX可)ください。

制度	①「受配者指定寄付金」	②「特定公益増進法人に対する寄付金」
提出書類	(1) 常翔学園J-Vision37募金 寄付申込書 [企業(法人)用/様式1-2(常翔学園様式)] (2) 寄付申込書 [様式1-1(日本私立学校振興・共済事業団様式)] ※別紙「記入例」もご参照ください。	(1) 常翔学園J-Vision37募金 寄付申込書 [企業(法人)用/様式1-2(常翔学園様式)]

※各寄付申込書は「常翔学園J-Vision37募金サイト」からダウンロードすることもできます。

- ③本学園所定の「払込取扱票」(同封のもの)をご利用のうえ、「銀行振込または郵便振替」により寄付金をお振込みください。
なお、払込手数料については下記(10頁)「【注意】4」を、振込先口座は10頁を参照してください。
- ④寄付申込書の受領および入金の確認が完了次第、「①受配者指定寄付金」の場合は、寄付金および寄付申込書等を本学園から日本私立学校振興・共済事業団へ転送します。「寄付金受領書」が、同事業団から本学園に送付されてきますので、到着次第、貴社へ郵送します。また、「②特定公益増進法人に対する寄付金」の場合は、本学から寄付金「領収書」を発行(郵送)します。

◎WEBによるお申込み(給与・賞与引去りによるお手続き)のみとなります。

- ①「常翔学園J-Vision37募金サイト」の「寄付をする」からお申込みください。
- ②「教職員」を選択してください。寄付金の入金方法は、「給与・賞与引去り」のみとなります。
- ③「申込みページへ」をクリックし、画面の指示に従い必要事項を入力してください。
- ④寄付金の入金確認後、本学から寄付金「領収書」を発行(送付)いたします。なお、継続寄付の場合は原則として、年末(12月)に送付します。

- 【注意】
- 1. **必ずお申込み(書面またはWEB)と寄付金入金の両方のお手続きをお願いします。**
 - 2. お申込み手続きがない場合は、指定する学校や支援事業等が確認できないため、「学校指定なし」の「教育研究運営支援事業」へのご寄付として取扱させていただきます。また、領収書発行等ができない場合もありますのでご了承ください。
 - 3. 「寄付金に対する税制上の優遇措置」については、11頁を参照してください。
 - 4. 本学園所定の「**払込取扱票**」(同封のもの)をご利用のうえ、下記の本学園指定銀行の本支店または郵便局(郵便振替)からお振込みいただく場合、**払込手数料は不要(無料)**です。上記以外の金融機関からお振込みいただく際や、本学園所定の「払込取扱票」を利用されない場合は所定の手数料が必要となります。また、郵便局(郵便振替)から現金でお振込みいただく場合、**1件ごとに加算料金110円がかかります**。なお、これらの手数料等は寄付者様のご負担となりますので、予めご了承ください。

※本学園指定の振込先口座は以下のとおりです(書面・WEBによるお申込み共通)。

・三菱UFJ銀行 京阪京橋支店 普通 口座番号：0512550 口座名義 学校法人常翔学園 理事長 西村 泰志(ガッコウホウジンジョウショウガクエン リジチョウ ニシムラヤスシ) ・郵便局 郵便振替 口座記号番号：00960-9-118760 加入者名 学校法人常翔学園(ガッコウホウジンジョウショウガクエン)
--

/// J-Vision37募金サポートメンバー制度(個人のみ)

毎月一定額をご寄付のうえ、各支援事業に継続してご支援をいただく制度です。対象者の皆様は、J-Vision37募金サポートメンバーに認定いたします。

1 資格(対象者)

寄付申込み時に「継続寄付」を選択し、毎月一定額をご支援いただいた**個人(学園教職員を含む)のみ**を対象とします(寄付の期間は問いません)。

◎学園教職員の場合

WEBによるお申込み時に、「継続」もしくは「分割」(寄付期間を設定)を選択のうえ手続きください。

◎学園教職員以外の個人の場合

「WEBによるお申込み」から、「クレジットカード等によるお手続き」を選択し、さらに寄付の方法で「毎月」を選択して手続きください(支払方法は「クレジットカード」に限定されます)。

2 メンバーサービス

- ①J-Vision37募金サポートメンバーバッジを進呈(初回のみ)
- ②サポートに対するお礼の品を進呈(年1回)

/// ご寄付をいただいた皆様への特典・顕彰

1 特典

記念品(革製コースター)を進呈(寄付者全員。金額不問。初回のみ)



記念品(革製コースター)

2 顕彰

- ①WEB芳名録へ掲載(寄付者全員のご芳名、法人・団体名を掲載。匿名希望者を除く)
 - ②銘板の設置(寄付者全員のご芳名、法人・団体名を掲載。匿名希望者を除く[対象年度:2023~2032年度])
 - ③感謝状の授与と記念品の贈呈(2023~2027年度の間、個人で累計100万円以上、企業・団体で累計500万円以上)
 - ④学園功労賞の授与と記念品の贈呈(2023~2027年度の間、個人で累計500万円以上、企業・団体で累計3,000万円以上)
- ※③④は、2027年度に授与・贈呈する予定です。なお、③④が重複する場合は、④のみ授与・贈呈いたします。

寄付金に対する税制上の優遇措置

個人の場合

翌年の確定申告により、つぎのいずれかを受けることができます。

①税額控除

寄付金額から2千円を差し引いた額の40%が税額控除対象額となります。税率に関係なく所得税額から控除されるため、ほとんどのご寄付について、つぎの所得控除より減税効果が大きくなります。

②所得控除(特定公益増進法人に対する寄付金)

所得控除を行った後に税率を掛け、所得税額を算出します。所得金額に比べて寄付金額が大きい場合には、税額控除より減税効果が大きくなります。

- 【注意】 1. 税制上の優遇措置を受けるために必要な「**税額控除証明書(写)**」および「**特定公益増進法人証明書(写)**」は寄付金「**領収書**」の裏面に掲載しています。
2. 2千円以下の寄付金は、寄付金控除の対象とはなりません。
3. 税法は変更されることがあります。詳細は、国税庁のホームページでご確認ください。

●個人住民税の寄付金税額控除

個人で本学園に寄付した場合、ご住所により確定申告を行うことで、上記の税額控除または所得控除のほか、個人住民税の控除を受けることができる場合があります。個人住民税には、①都道府県民税と②市町村民税の2種類があります。

本学園の主な控除対象居住地(自治体)については下表のとおりです。(2023年4月1日現在)

①都道府県民税

居住地	控除
大阪府	○
京都府	×
広島県	○

②市町村民税

居住地	控除	居住地	控除
大阪府大阪市	○	広島県広島市	×
大阪府寝屋川市	○	広島県呉市	○
大阪府枚方市	○	広島県東広島市	○
京都府八幡市	×		

- 【注意】 1. 住民税の寄付金税額控除の詳細については、居住している都道府県・市区町村の条例やホームページ等でご確認願います。
2. 上記自治体および今後本学園を住民税控除の対象法人として指定した自治体からの要請があった場合は、寄付者名簿を提出することになっていますので、予めご了承ください。寄付者名簿には、自治体からの指定のある寄付者の氏名、住所、寄付金額、寄付金受領日等を記載します。

企業(法人)の場合

寄付申込み時に、つぎのいずれかをご選択ください(法人税が課税されている法人様が対象となります)。

④受配者指定寄付金

日本私立学校振興・共済事業団(以下、「事業団」)が設ける寄付制度です。事業団への諸手続は本学園で行います。

(1)控除の限度額

事業団を経由してご寄付いただくことで、寄付金の全額を当該事業年度の損金に算入することができます。

(2)損金算入手続

- ・損金算入処理には事業団発行の「**寄付金受領書**」(以下、「**受領書**」)が必要となります。受領書は本学園にご入金いただいた寄付金等を事業団へ転送した後、本学園宛に送付されてきます。到着後、貴社へ郵送しますので、大切に保管してください。
- ・受領書の貴社への到着は本学園へのご入金から1か月半～2か月程度かかります。決算月にご寄付をお考えの際は、**事前(決算月の前月20日まで)**に事業企画室までご連絡ください。なお、受領書の発行日は本学園から事業団へ寄付金を転送した日付となります。

- 【注意】 1. 本適用を受けるための申込み方法等は9頁を参照してください。
2. 受配者指定寄付金の詳細は、事業団Webサイト(https://www.shigaku.go.jp/s_kihu_menu.htm)を参照してください。



⑤特定公益増進法人に対する寄付金

本学園は文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けていますので、本学園への直接の寄付については、損金算入限度額内で損金に算入することができます(寄付金全額を損金として扱えません)。

(1)損金算入限度額の計算方法

損金算入限度額=(資本金等の額×0.375%+当該年度所得×6.25%)×1/2

(2)損金算入手続

損金算入手続きには、本学園が発行(郵送)する寄付金「**領収書**」と「**特定公益増進法人証明書(写)**」(領収書裏面に掲載)が必要となりますので、大切に保管してください。

お問い合わせ先

学校法人常翔学園 事業企画室《10:00～17:00(月～金[祝日を除く])》
〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1
TEL 06-6954-4003(直通) FAX 06-6954-4876 E-mail : Kikaku@josho.ac.jp

常翔学園 J-Vision37募金サイト
<https://www.josho.ac.jp/giving/>

